

活動報告

介護環境改善研究事業報告

—平成 26・27 年度長野県大学・地域連携事業補助金採択事業—

斎藤和幸 (佐久大学信州短期大学部)

The Report of care environmental improvement research project
—Cooperation project with the University and the local community
by the subsidy of Nagano Prefecture—

Kazuyuki Saito (Department of Shinshu Junior College at Saku University)

要旨: 日本の少子高齢化は世界に類を見ないスピードで到来し、高齢者や障がい者が安心して暮らせる地域づくりの実現には、地域に根ざした利用者本位の介護の提供が重要な課題となっている。また、介護に携わる事業者や介護職者、介護福祉士を養成する機関は、理念を共有し夢と希望を持って介護に臨むことができる環境づくりを目指していかなければならない。こうした課題の解決に向けて、介護・福祉の魅力を共有し、介護する人とされる人のどちらにもやさしい介護の探求と、希望を抱いた後継者の育成を目的に、平成 24 年度から佐久大学信州短期大学部は JA 長野厚生連、ジェイエー長野会、佐久市及び佐久商工会議所とともに介護環境改善研究事業に取り組み始めた。

本稿では、本研究事業が平成 26 年度及び平成 27 年度に「長野県大学・地域連携事業補助金事業」に採択され、研究会のみならず様々な事業を行っているが、その採択事業の概要や成果、今後の課題などについて報告する。

Keywords:

I. はじめに

佐久大学信州短期大学部では平成 24 年度から佐久市や JA 長野厚生連を始めとする地域の行政機関・団体と連携して、高齢者や障がい者とその家族が安心して生活できる環境を整えるために、介護する人とされる人のどちらにも優しい介護を探求することを目的に「介護環境改善研究事業」を行っている。さらにこの事業は、介護職者や介護に携わる人の介護技術支援や生活支援技術の改善・向上につなげることで、高度な知識と技術をもった介護職者を輩出する目的をもって行っている。

この事業は平成 26 年度及び平成 27 年度の長野県「大学・地域連携事業補助金事業」に採択され、介護環境の改善に取り組む介護保険事業者や行政機関、民間事業者による研究・活動発表の公開及び市民や看護・介護職者を対象に「認知症」をテーマに連続講演会を開催した。この事業は平成 28 年度も継続して実施し、長野県の補助金事業としても継続申請する予定で、さらに多くの市民に大学の資源を公開・提供していく予定である。

以下に本事業の目的・概要・効果について報告し、今後継続して実施するにあたり、課題解決及び改善への方策へとつなげていく。

II. 介護改善研究事業

1. 事業の目的

少子高齢社会において、高齢者・障がい者が安心して暮らせる地域づくりの実現には、地域に根ざした利用者本位の介護の提供が重要である。長野県は全国トップレベルの健康長寿県である。その中でも佐久市は平均寿命が長く、地域機関は健康長寿と保健・医療・福祉・介護の各分野で連携を図り、医療・福祉の先進地域として、長寿かつ健康で生涯安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。

本学は佐久市及び JA 長野厚生連を始めとする地域機関と連携して、高齢者と家族が安心して生活できる環境を整えるため、介護する人とされる人のどちらにも優しい介護の探求と、高度な知識と技術を持った介護職者を輩出していくことを目的に本研究事業を行っている。さらに介護職者や介護に携わる方の介護技術支援や生活支援技術の改善・向上につなげることを目的とする。

2. 事業の概要

(1) 事業内容

【平成 26 年度】

平成 26 年度の事業は、日本で最初に老人保健施設を設置した JA 長野厚生連、先進的介護の取り組みを実践するジェイエー長野会及び健康長寿都市を宣言する佐久市を始めとする、地域の医療・福祉関連機関と連携し、介護環境改善と高度な技術でやさしい介護の実践を目指して、次のような事業を行った。

- ①介護環境改善研究会：シンポジウム、改善活動研究発表、実践活動の紹介、新しい介護技術と介護機器の開発及び紹介など
- ②介護環境改善講演会：実践者の講演会、介護機器及び介護技術の紹介
- ③新しい介護福祉機器の開発及び機器展示の開催：

佐久商工会議所主催の研究会参加や機器展示会の共同開催を通じて、学生が授業の演習や施設実習を通して得た体験から、企業の機器・用具の開発担当者と意見交換をし、今後の開発へ向けて現場の声を伝えた。

また機器展示会では、説明等を一緒に行うアシスタントを務めた。

〔機器・用具の開発参加の例〕

学生が国際福祉機器展見学や施設実習の体験を通して、新たな福祉用具のアイデアや既存の用具の改良点について提案したレポートなどによって、白井学長が企業と開発する失禁パンツの形状など設計に反映させている。また、参加企業の展示した福祉用具について、学生が目で見聞を述べ企業に伝えている。

【平成 27 年度】

平成 27 年度は平成 26 年度の継続事業として、JA 長野厚生連、ジェイエー長野会及び佐久市を始めとする地域の医療・福祉関連機関と連携し、介護環境改善と高度な技術でやさしい介護の実践と情報発信地を目指して、より多くの一般市民、介護職者や介護職を目指す方に本学の施設・設備を解放し、介護環境改善に資する事業への参画を求めて次のような事業を実施した。

①介護環境改善研究会：

9 月 5 日、本学を会場に実施した。信濃毎日新聞社編集委員による「認知症取材に思うことー母を患者に持つ立場から」と題しての講演会、卒業生と在学生による「介護の魅力」についての発表と討論会、病院や福祉施設の介護職者による「研究事例報告」、地域行政及び福祉施設職員による「安心して暮らせる豊かな地域づくりに向けて」をテーマにしたパネルディスカッション、企業による新しい福祉用具や機器の紹介・展示会などを開催した。

②介護環境改善講演会：

「認知症の予防・ケア」をテーマに表 1 のとおり学外の見識者による講演会を開催した。

③介護福祉機器展視察：

10 月 7 日、東京国際展示場・東京ビッグサイトで開催された「国際福祉機器展」に、本学学生及び公募によって参加した一般市民や介護職者 10 名の計 35 名が視察を実施した。本学教員がガイド・引率として参加し、往路のバス内では視察行程の説明、事前に入手した案内資料によって会場内での見学の仕方や展示会場情報アプリの説明などを行い、会場到着後それぞれが視察に臨んだ。

④新しい介護福祉用具開発への参加：

学生と教員が佐久商工会議所会員企業で構成する「ものづくり研究会」や信州大学繊維学部の「Fii 共同事業」が開発する介護機器・用具の形状や機能性などについて、9 月の介護環境改善研究会や 10 月の大学祭において、意見・感想を提出し、知見を広める機会を持つことができた。また、「Fii 共同事業」による用具については、介護専門授業においてグループワークで取り上げ、学生の意見・感想をまとめ提出した。

⑤介護機器・用具の紹介、生活援助技術の指導・公開講座：

本学教員による介護機器・用具の紹介、利用指導、介

表 1 平成 27 年度「認知症の予防・ケア」テーマの講演会

講演会	講師	演題
第 1 回 平成 27 年 10 月 17 日	鳥取大学教授 浦上克哉	認知症の最新情報 ー早期発見から予防までー
第 2 回 平成 27 年 11 月 28 日	身体教育医学研究所所長 岡田真平	認知症の予防と身体活動・運動
第 3 回 平成 27 年 12 月 12 日	浅間総合病院歯科口腔外科医長 奥山秀樹	認知症と口腔ケア ー発症予防から食支援までー
第 4 回 平成 28 年 1 月 30 日	青梅慶友病院看護介護開発室長 桑田美代子	豊かに老いる ー五感を生かす・身体を活かすー
第 5 回 平成 28 年 2 月 6 日	NHK 文化・福祉番組部チーフディレクター 川村雄次	認知症予防・再考 ー若月俊一著「五十歳からボケとたたかう」を再読しつつー

表2 平成27年度本学教員による公開講座

講演会	講師	講座名	使用機具
第1回 平成27年12月15日	准教授 関口昌利	持ち上げない移乗・移動の介護技術	車椅子 電動リフト
第2回 平成28年1月29日	教授 矢羽田明美	物忘れ相談プログラムについて	物忘れ相談プログラム
第3回 平成28年2月9日	准教授 菊池小百合	認知症の人にやさしいケアの基本	
第4回 平成28年2月23日	教授 宮入ひさ枝	介護保険制度—認知症対応—	
第5回 平成28年3月1日	学長・教授 白井汪芳	進歩する介護用繊維製品	

介護技術の公開、及び認知症をテーマにした講演会と連動した公開講座を表2のとおり開催した。

〔介護機器・用具の紹介・利用指導・介護技術の公開〕

10月24・25日に開催した大学祭において、「介護福祉機器体験」として本学の介護実習室を解放し、前年度本補助金で購入した車椅子、据置式電動リフト、今年度購入した「物忘れ相談プログラム」を利用した診断などを実施した。

(2) 地域の課題

依然として介護職に対する社会的評価や認知度の低さ、介護職を取り巻く労働環境や人材確保・育成・定着の現状は厳しく、介護需要の増加に十分に対応できていない。保健・医療・福祉の先進地域にある本学は、介護福祉士養成校として地域の介護環境改善・開発の現状と、介護職者の先進的取り組みの現状を広く発信していく必要がある。

また、高齢者の介護重要度が増す中で、認知症を正しく理解し、認知症患者それぞれにあったケアを行うことが求められ、要介護者と介護職者にストレスのない環境をつくるのが重要である。本学は行政及び医療・福祉関連機関とともに、こうした地域の喫緊の課題解決に向けた取り組みを行うことが必要である。

(3) 連携した関連団体等

JA長野厚生連、ジェイエー長野会、佐久圏域介護保険事業者、佐久市、佐久商工会議所（ものづくり研究会）

(4) 成果目標

地域の課題を踏まえて本事業を実施するにあたり、次のような成果目標を立てた。

①一般市民や介護職者に地域の介護福祉の拠点として認

知され、介護職者は前年に引き続き多くの参加者を得ること。一般の参加者を対象にした講演会では、全体の延参加者数は前年を上回り、一回の講演会参加者数の平均でも前年を上回るよう広報を行う。

②参加者のアンケート等によって様々な意見や感想を得ること、また講演会や公開講座への参加状況から、卒業生は卒後研修の場として、地域の介護職者には学び直しの機会として継続的に参加し、介護環境と技術の改善・向上につなげられる役割を果たすこと。

③在宅介護に携わる地域の人には、介護支援の知識と技術や認知症予防の情報を得る機会を継続して提供し、安心して生活できる環境づくりに貢献すること。

④学生には、高度な知識と技術に触れる機会となり、保健・医療・福祉に関わる実務者から多くの知見を広げることができ、将来に具体的な目標が持てる機会となること。

⑤講演会や公開講座をはじめとする本事業は、前年を上回る多くの参加者に介護職の重要度と介護の仕事の理解を高め、介護職人材の確保につなげられる。

事業の成果を把握するために、継続事業としての必要性の観点から、参加する人の増加、認知度、利用度などを前年度事業との比較と、事業内容の評価及び事業目的等との整合性について、アンケート調査による直接的な評価を得て事業の効果を探った。また、介護職者や学生からは事例研究発表、アンケート調査などにより改善状況や事業の効果把握した。

3. 事業の効果

【平成26年度】

各事業のうち、3つの事業について、次のとおり参加者のアンケートから、それぞれの事業の効果について点検・評価ができた。また今後の実施にあたり改善方策の検討に資することができた。

(1) 介護環境改善研究会参加者アンケート（付録 1）参加者 206 人

基調講演、セッションは介護の重要性や魅力、労働環境について、回答者の 94%が有意義であるとの評価。介護職者の研究発表は同じく 94%が有意義であるとの回答であった。他に、記述による感想等から、さらに多くの方に介護職の理解を深めてもらう取り組みを考えていきたい。

(2) 連続講演会「認知症ケア」参加者アンケート（付録 3）参加者 83 人

後援内容について、回答者の 98%が参考になるという評価をしている。認知症について学ぶ機会は、認知症の方に関わる方からは、さらに詳しい内容についてリクエストが多くあった。また、学生や一般の方からは知識としてだけでなく、ケアの実際を学べることへの評価があった。

(3) 連続講演会「やさしさを伝えるケア技術」参加者アンケート（付録 4）参加者 163 人

認知症のケア技術として話題性の高い「ユマニチュード」についての講演であったため、回答者の 98%が参考になるという評価をしている。記述の回答では、多くの方からユマニチュードのケア技術について高い評価と、継続的な学習を望む声があった。

【平成 27 年度】

本学が行政及び福祉関連機関と連携し、継続的事業として介護技術や介護環境の改善研究や情報機会を共有することで、地域の介護・福祉の体制を強化する拠点として期待されている。特に認知症への理解と対応・予防・ケアは、その家族や介護職者にとって重要な課題であり、アンケートの結果などから継続的に介護予防・ケアについて地域の重要な情報拠点として発信することが求められている。

また、介護職を目指す学生は、これらの事業を通して介護の魅力と将来に希望を持ち、高度な知識と技術を身に付けた介護職者を目標にすることができる。さらに、この研究事業に多くの参加者を得て、地域から介護・福祉の仕事の新たな担い手を安定して確保・育成し、地域にねざした利用者本位の介護の提供につなげていくことが期待できる。

以下のとおり、参加者によるアンケートなどから、それぞれの事業内容の効果について点検・評価することができた。その結果を基に本事業を継続して実施する意義

と改善・計画の検討に資することができた。

(1) 介護環境改善研究会（付録 2）

参加者 197 人

参加者は昨年を若干下回るもののほぼ同数程度で、主催者サイドの運営スタッフを除いたアンケート協力者は昨年を上回った。アンケート結果では、特別講演の評価は 86%が有意義であったと回答。その他、学生・卒業生による発表・討論会、介護職者による報告会及びパネルディスカッションはそれぞれ 95%以上が有意義であったという回答を得ることができた。その他、並行開催するイベントの評価に無回答とある部分については、参加できない方からの回答で、来年度開催計画に向けて改善・検討が必要である。また、来年度は地域の介護保険事業者からより多くの参加を求めていくことも目標としたい。

(2) 介護環境改善講演会「認知症の予防・ケア」（付録 5～9）

認知症をテーマにした講演会は、昨年度のアンケート結果も踏まえて実施した。アンケート結果では、講演内容は 5 回の講演会とも多くの参加者から「参考になる」との回答を得ることができた。前年度 2 回の講演会の平均参加者数 123 人に対して、今年度 5 回の講演会の延べ参加者数 643 人、平均は約 129 人であった。平均の参加者数は微増ではあるが、多くの参加者から次年度も継続して開催する要望や感想が寄せられた。

(3) 国際福祉機器展視察一般参加者 10 人

今年度初めて開催した国際福祉機器展視察への参加者は、一般参加者が 10 人、本学学生が 25 人、引率教員 4 人であった。一般参加者は最新の福祉用具や機器を視察することで、知識のアップデート、最新の情報収集、業務に役立てるなどの目的をもって参加し、アンケートでは「企画について」と「福祉機器展の内容」の設問とも「満足・まあ満足」とする回答が 100%得られた。往路のバス中では視察行程の説明、事前に入手した案内資料による会場内での見学の仕方や展示会場情報アプリの説明など直前の説明、会場では場内の巡り方などガイドを実施し、参加者は効果的に展示会場に臨めたと考える。今後は事前に学内で目的の確認など、より効果的な視察になるように工夫をしたい。

(4) 新しい介護福祉用具の開発への参加

今年度は介護環境改善研究会、大学祭において地域企業の参加協力を得て、開発する介護用具等の展示・紹介に学生が参加し、用具の改善等の意見や感想を述べることで、新しい機器・用具の開発状況を理解することができた。また、授業では白井学長が信州大学繊維学部 Fii 共同事業で開発・改良に取り組む、消臭抗菌「尿バックカバー」などの製品について理解を深め、形状や機能性の改善点など学生の視点で意見・感想を提出することができた。

(5) 介護機器・用具の紹介、生活援助技術の指導・公開講座（付録 10～14）

認知症の予防・ケアをテーマにした講演会と連動して、本学教員による認知症について理解を深める講座や介護機器・用具の紹介、生活援助技術の指導など公開講座を実施した。アンケートでは、講座に対する期待が満たされたかとの問いについて、全てに「満たされた・やや満たされた」とする回答が 80% またはそれ以上で好評を得た。

講座に対するアンケートの感想・意見では、どの講座についても「わかり易い」、「丁寧」、「今後に役立つ」、「もう少し聞きたい」などの感想が多かった。次年度はアンケートを基に、講演会とは違う身近な小教室での講座の拡大・充実を目指したい。

Ⅲ. まとめ

日本の高齢化はさらに増大する一方、依然とし介護人材は不足するとの見通が示されている。本学を取り巻く

地域においても介護人材不足は例外ではなく、認知症や医療と介護を併せ持つ要介護高齢者の増大が見込まれ、安定した介護人材の確保は喫緊の課題となっている。本学は介護人材養成校として、地域福祉の担い手を輩出するという重要な役割を果たす責務がありながら、介護職に対する社会的評価や認知度の低さ、介護職を取り巻く労働環境や人材確保・育成・定着の現状は厳しく、介護需要の増加に十分に対応できていないのが現実である。また、高齢社会において高齢者とその家族が安心して暮らせる地域づくりの実現を目指して、本学は佐久大学看護学部とともに、保健・医療・福祉の先進地域における拠点として、大きな期待が寄せられている。

そうした中で、本学は地域と連携して高齢者と家族が安心して生活できる環境を整えるため、介護する人とされる人のどちらにも優しい介護の探求を継続し、介護環境改善・開発の現状や、介護職者の先進的取り組みの現状を広く丁寧に発信することで、人材不足の改善や介護職の重要性など地域の喫緊の課題解決のために本事業を継続していくことが重要であると考えている。

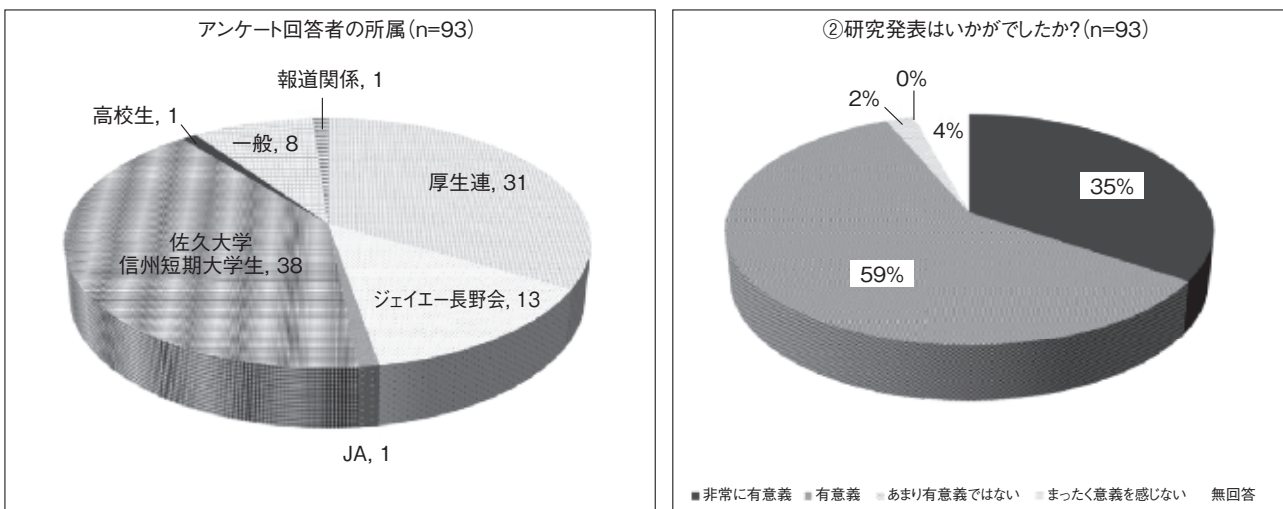
【参考資料】

平成 26 年度、平成 27 年度各事業のアンケート結果（別添付録）

【付録1】 第 3 回介護環境改善研究会アンケート結果 (N=93)

日時：平成 26 年 9 月 6 日 (土)

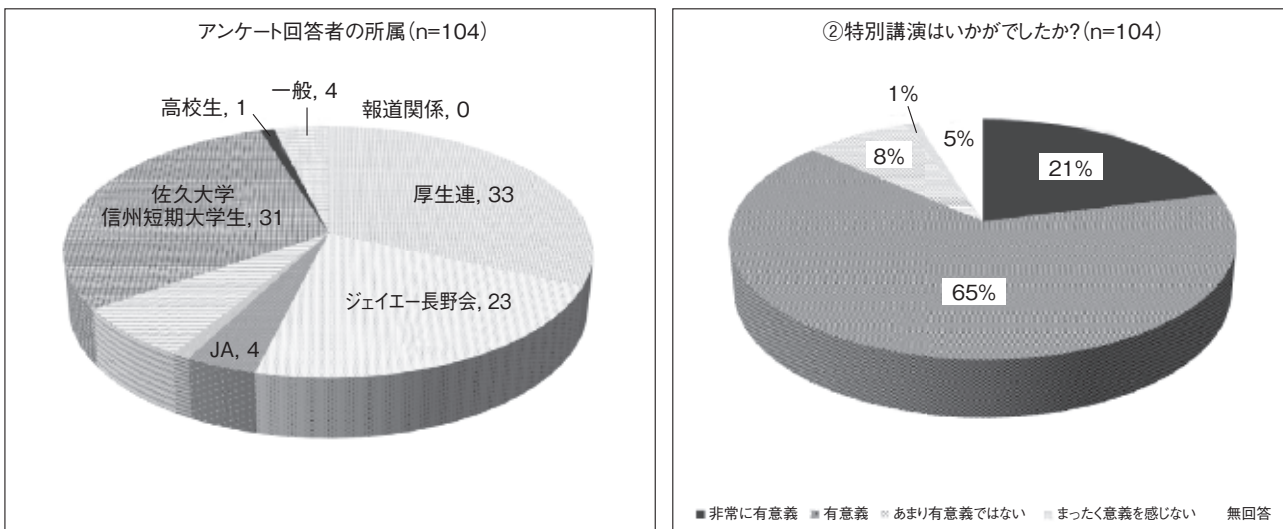
場所：佐久大学 4 号館



【付録2】 第 4 回介護環境改善研究会アンケート結果 (N=104)

日時：平成 27 年 9 月 5 日 (土)

場所：佐久大学 2300 講義室



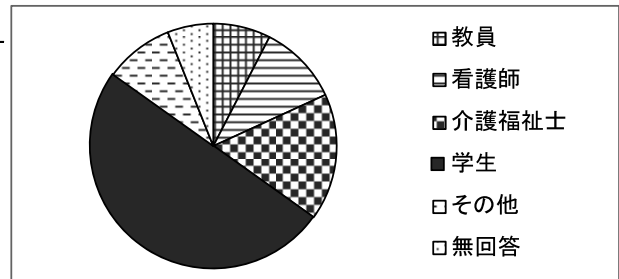
【付録3】 認知症の理解・公開連続講演会 アンケート集計 (N=66)

日時:平成26年12月17日(土)

テーマ:認知症ケア 講師:堀内ふき氏(佐久大学看護学部長)

1. 職種

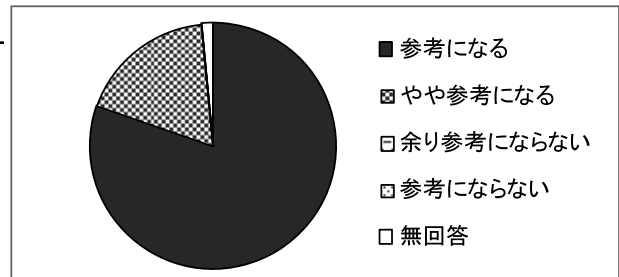
	回答数	構成比
・ 教員	5	7.6%
・ 看護師	7	10.6%
・ 介護福祉士	11	16.7%
・ 学生	33	50.0%
・ その他	6	9.1%
無回答	4	6.1%
計	66	



[その他] ケアマネ1, ヘルパー2, 介護職員(歯科衛生士)1, 介護員1, 主婦1

2. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	53	80.3%
b やや参考になる	12	18.2%
c 余り参考にならない	0	0.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	1	1.5%
計	66	



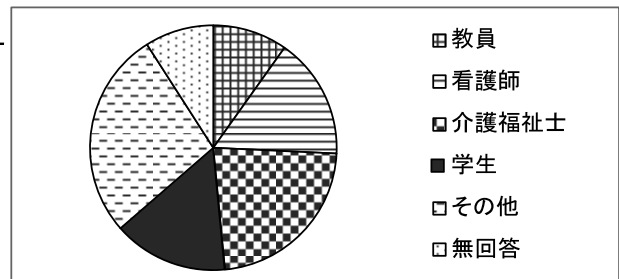
【付録4】 認知症の理解・公開連続講演会 アンケート集計 (N=132)

日時:平成27年2月14日(土)

テーマ:やさしさを伝えるケア技術～ユマニチュード～ 講師:伊東美緒氏(東京都健康長寿医療センター)

1. 職種

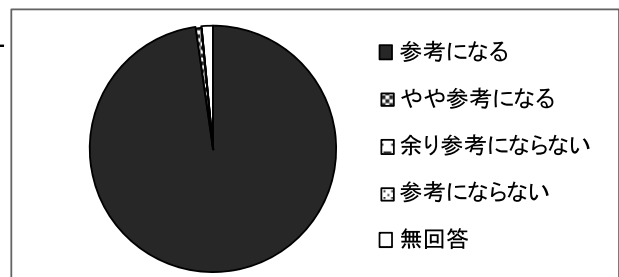
	回答数	構成比
・ 教員	13	9.8%
・ 看護師	21	15.9%
・ 介護福祉士	30	22.7%
・ 学生	20	15.2%
・ その他	36	27.3%
無回答	12	9.1%
計	132	



[その他] 社協職員, 特定施設管理者, 施設職員, ケアマネ5, 介護職員2, ヘルパー, 生活支援専門員, 保健師2, 歯科医師, 歯科衛生士, 会社員5, 主婦7, 自営業, 一般市民3, 無職2, 後期高齢者, 親の介護をしている

2. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	129	97.7%
b やや参考になる	1	0.8%
c 余り参考にならない	0	0.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	2	1.5%
計	132	



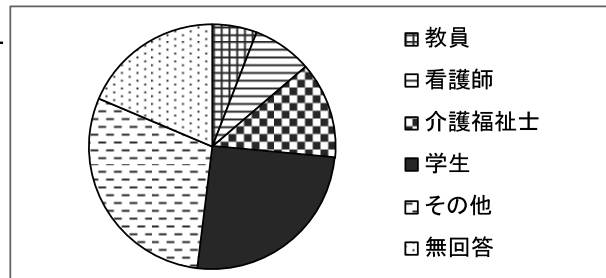
[付録 5] 「認知症の予防・ケア」公開講演会 アンケート集計 (第 1 回目 N=102)

日時:平成 27 年 10 月 17 日(土)

テーマ:認知症の最新情報～早期診断から予防まで～ 講師:浦上克哉氏

1. 職種

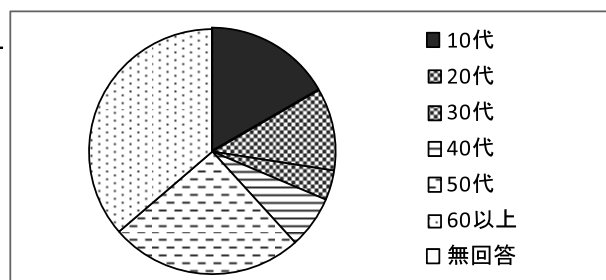
	回答数	構成比
・ 教員	6	5.9%
・ 看護師	8	7.8%
・ 介護福祉士	13	12.7%
・ 学生	26	25.5%
・ その他	30	29.4%
無回答	19	18.6%
計	102	



[その他] CW(1), 社会福祉士(1), 介護職員(1), 介護保険事業所(1), ケアマネ(1), 健康運動指導士(1), アロマセラピスト(1), 会社員(1), 市民(1), 主婦(15), 無職(5), 家族が認知症(1)

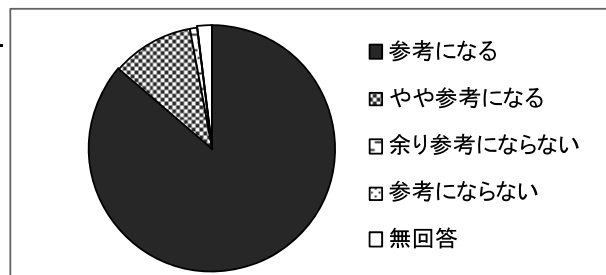
2. 年代

	回答数	構成比
a 10代	17	16.7%
b 20代	11	10.8%
c 30代	4	3.9%
d 40代	7	6.9%
e 50代	26	25.5%
f 60以上	37	36.3%
無回答	0	0.0%
計	102	



3. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	88	86.3%
b やや参考になる	11	10.8%
c 余り参考にならない	1	1.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	2	2.0%
計	102	



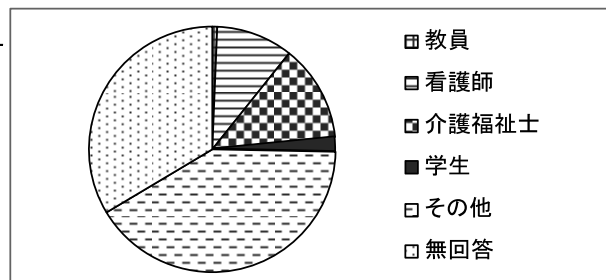
[付録 6] 「認知症の予防・ケア」公開講演会 アンケート集計 (第 2 回目 N=158)

日時:平成 27 年 11 月 28 日(土)

テーマ:認知症の予防と身体活動・運動 講師:岡田真平氏

1. 職種

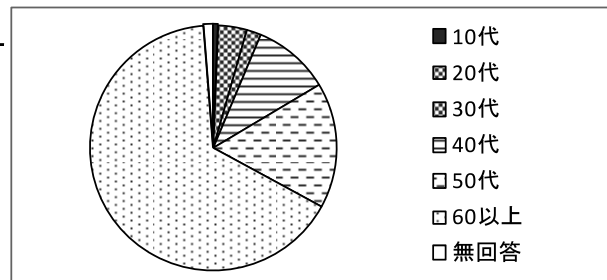
	回答数	構成比
・ 教員	1	0.6%
・ 看護師	16	10.1%
・ 介護福祉士	20	12.7%
・ 学生	3	1.9%
・ その他	65	41.1%
無回答	53	33.5%
計	158	



[その他] 薬剤師, 保健師, 健康運動指導士, 社会福祉士, 障害者支援施設の支援員, 介護支援専門員, 介護職(4), 会社役員, コメディカル, CM, 職員, パート(2), 主婦(30), 農業(5), 無職(14)

2. 年代

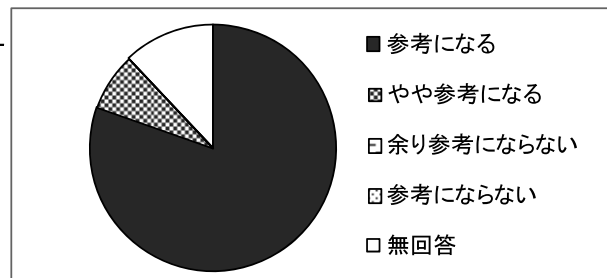
	回答数	構成比
a 10代	1	0.6%
b 20代	6	3.8%
c 30代	3	1.9%
d 40代	16	10.1%
e 50代	26	16.5%
f 60以上	104	65.8%
無回答	2	1.3%
計	158	



3. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	127	80.4%
b やや参考になる	12	7.6%
c 余り参考にならない	0	0.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	19	12.0%
計	158	

・ 具体的で解り易い内容は歓迎です。



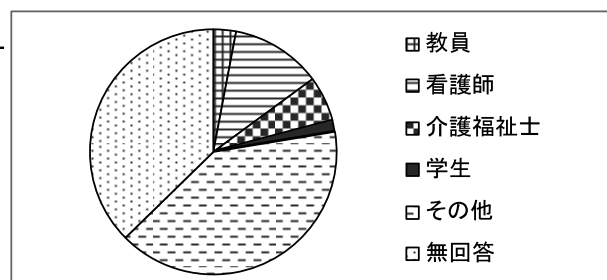
【付録7】「認知症の予防・ケア」公開講演会 アンケート集計 (第3回目 N=67)

日時:平成 27 年 12 月 12 日(土)

テーマ:認知症と口腔ケア～発症予防から食支援まで～ 講師:奥山秀樹氏

1. 職種

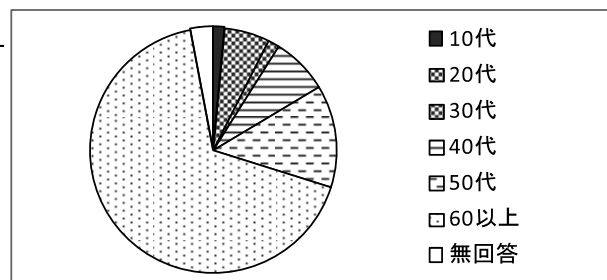
	回答数	構成比
・ 教員	2	3.0%
・ 看護師	8	11.9%
・ 介護福祉士	4	6.0%
・ 学生	1	1.5%
・ その他	27	40.3%
無回答	25	37.3%
計	67	



[その他] 薬剤師, 管理栄養士(2), 介護職員(2), 市議会, 会社員(2), パート, 市民, 主婦(10), 無職(7)

2. 年代

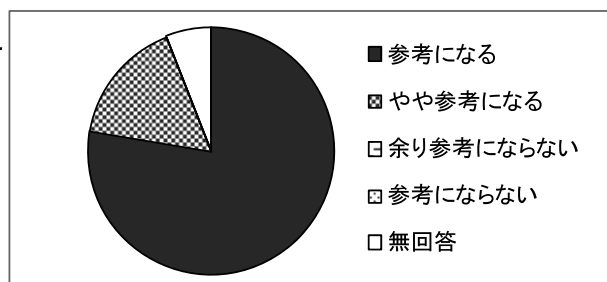
	回答数	構成比
a 10代	1	1.5%
b 20代	4	6.0%
c 30代	1	1.5%
d 40代	5	7.5%
e 50代	9	13.4%
f 60以上	45	67.2%
無回答	2	3.0%
計	67	



3. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	52	77.6%
b やや参考になる	11	16.4%
c 余り参考にならない	0	0.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	4	6.0%
計	67	

※すごく参考になる, 大いに参考になる



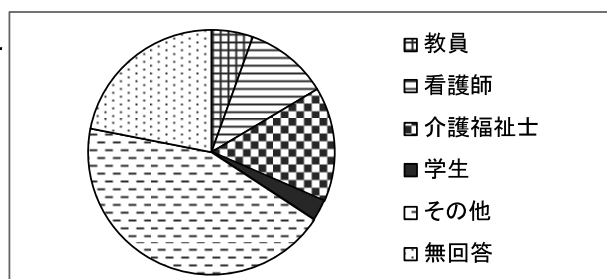
[付録 8] 「認知症の予防・ケア」公開講演会 アンケート集計 (第 4 回目 N=73)

日時:平成 28 年 1 月 30 日(土)

テーマ:豊かに老いる～五感を生かす・身体を活かす～ 講師:桑田美代子氏

1. 職種

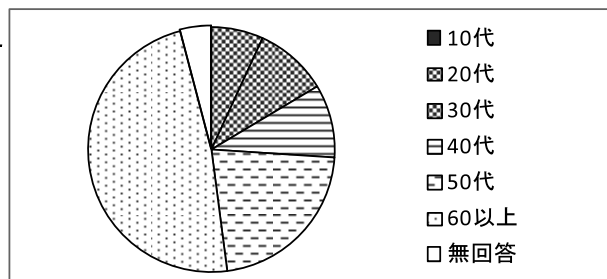
	回答数	構成比
・ 教員	4	5.5%
・ 看護師	8	11.0%
・ 介護福祉士	11	15.1%
・ 学生	2	2.7%
・ その他	32	43.8%
無回答	16	21.9%
計	73	



[その他] 医療関係者, ケアマネ, 介護職(3), 主婦(9), 農業(5), 一般市民, 認知症サポーター(レクインスト), 会社員, サービス業, パート, 大工, 無職(2)

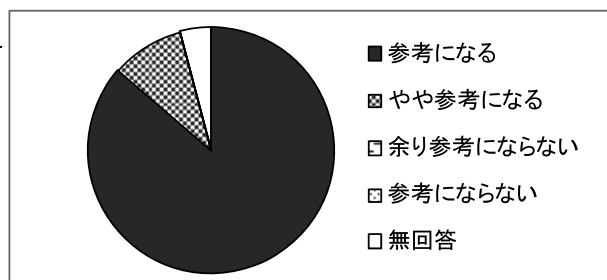
2. 年代

	回答数	構成比
a 10代	0	0.0%
b 20代	5	6.8%
c 30代	7	9.6%
d 40代	7	9.6%
e 50代	16	21.9%
f 60以上	35	47.9%
無回答	3	4.1%
計	73	



3. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	63	86.3%
b やや参考になる	7	9.6%
c 余り参考にならない	0	0.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	3	4.1%
計	73	



※ 大変参考になる
初めてだったので少しわからない部分も。。。

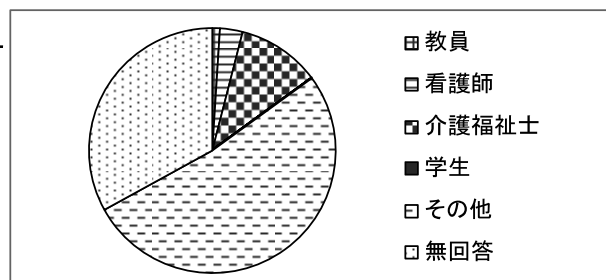
【付録9】「認知症の予防・ケア」公開講演会 アンケート集計（第5回目 N=100）

日時：平成28年2月6日（土）

テーマ：「認知症予防」再考～若月俊一著『五十歳からボケとたたかう』を再読しつつ～ 講師：川村雄次氏

1. 職種

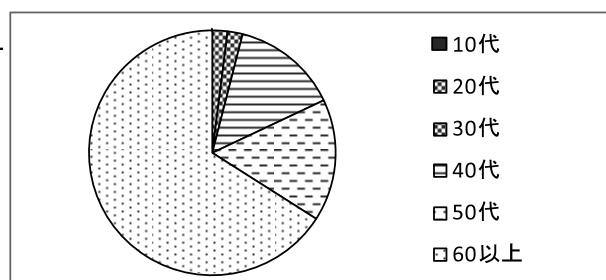
	回答数	構成比
・ 教員	1	1.0%
・ 看護師	3	3.0%
・ 介護福祉士	11	11.0%
・ 学生	0	0.0%
・ その他	52	52.0%
無回答	33	33.0%
計	100	



[その他] 医師, 保健師(2), ケアマネ(4), 介護職員(3), 調理師, 主婦(22), 元教員, 農業, 大工, パート(2), 一般市民(2), 無職(10), 自営業

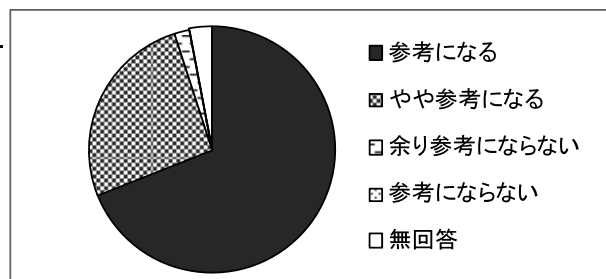
2. 年代

	回答数	構成比
a 10代	0	0.0%
b 20代	2	2.0%
c 30代	2	2.0%
d 40代	14	14.0%
e 50代	16	16.0%
f 60以上	66	66.0%
無回答	0	0.0%
計	100	



3. 講演内容はいかがでしたか

	回答数	構成比
a 参考になる	69	69.0%
b やや参考になる	26	26.0%
c 余り参考にならない	2	2.0%
d 参考にならない	0	0.0%
無回答	3	3.0%
計	100	

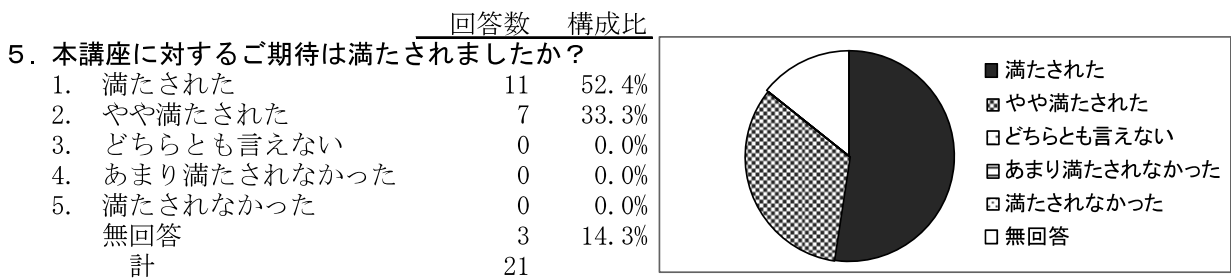
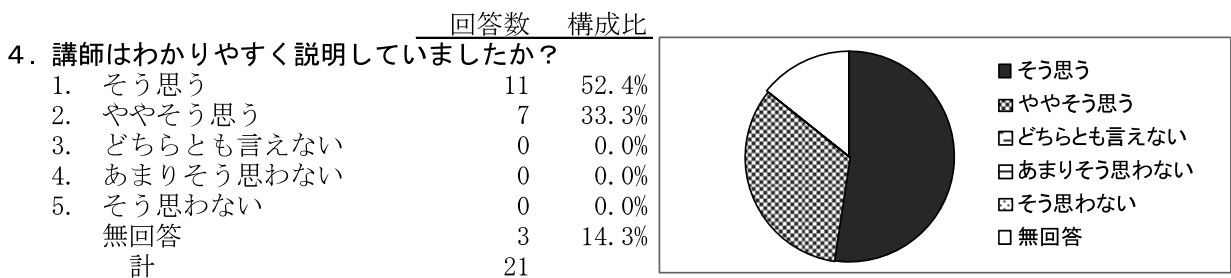
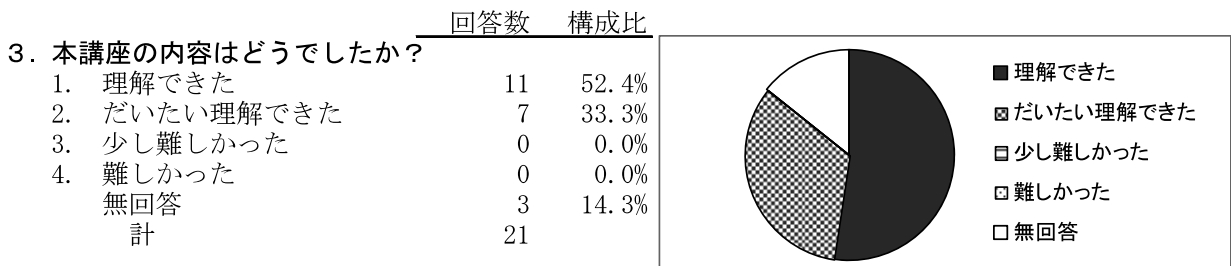
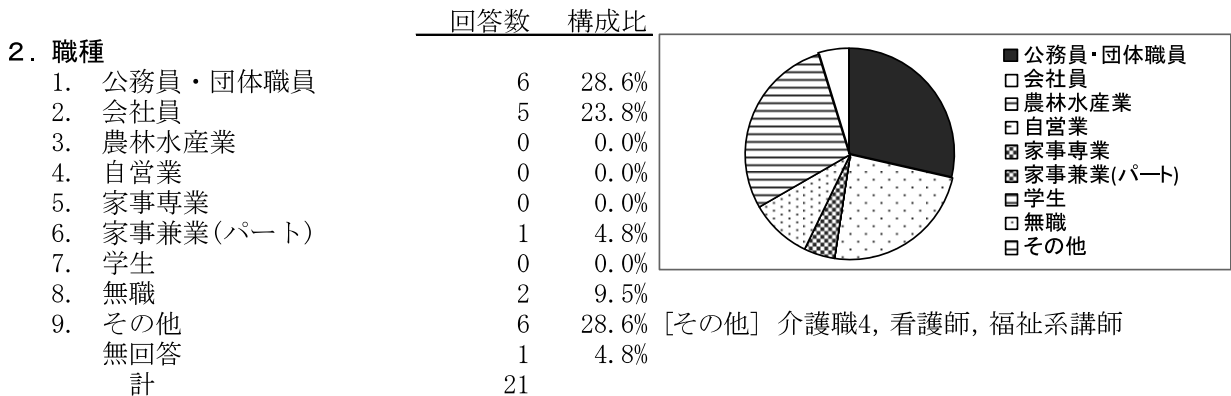
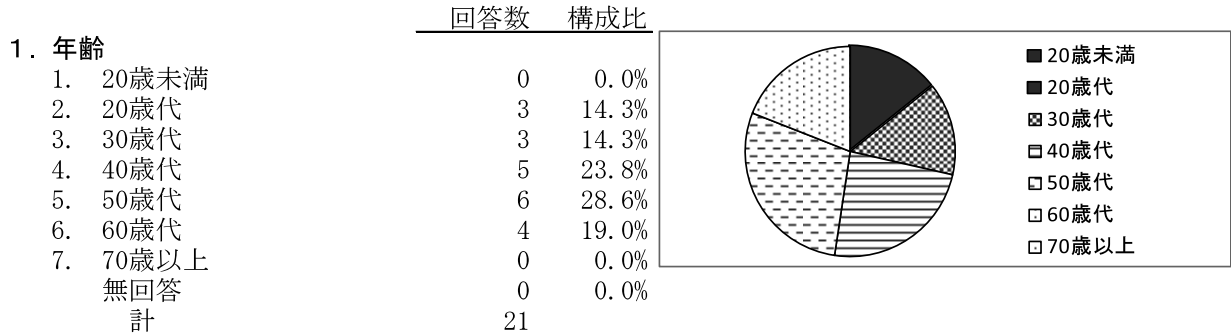


※ とても良かった

[付録 10] 介護公開講座 アンケート集計 (第 1 回目 N=21)

日時:平成 27 年 12 月 15 日(火)

テーマ:持ち上げない移乗・移動の介護技術 講師:関口昌利



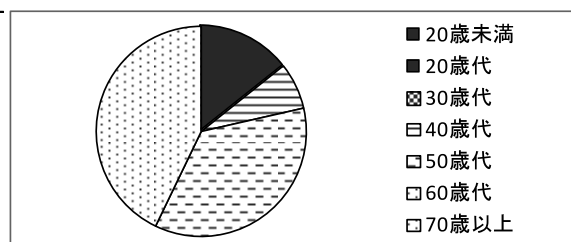
【付録 11】 介護公開講座 アンケート集計 (第 2 回目 N=14)

日時:平成 28 年 1 月 29 日(金)

テーマ:物忘れ相談プログラムについて 講師:矢羽田明美

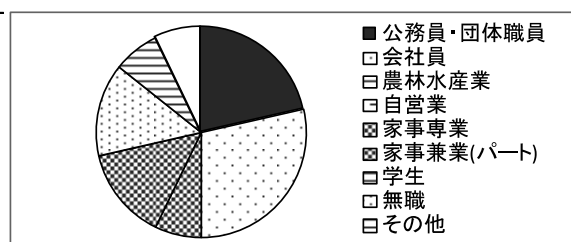
1. 年齢

	回答数	構成比
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	2	14.3%
3. 30歳代	0	0.0%
4. 40歳代	1	7.1%
5. 50歳代	5	35.7%
6. 60歳代	6	42.9%
7. 70歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	14	



2. 職種

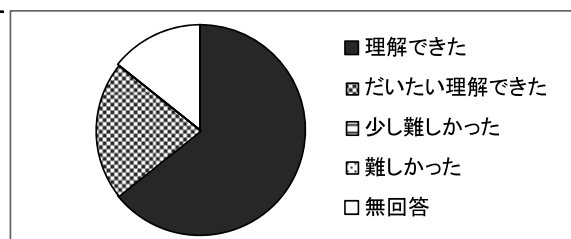
	回答数	構成比
1. 公務員・団体職員	3	21.4%
2. 会社員	4	28.6%
3. 農林水産業	0	0.0%
4. 自営業	0	0.0%
5. 家事専業	1	7.1%
6. 家事兼業(パート)	2	14.3%
7. 学生	0	0.0%
8. 無職	2	14.3%
9. その他	1	7.1%
無回答	1	7.1%
計	14	



[その他] 介護職

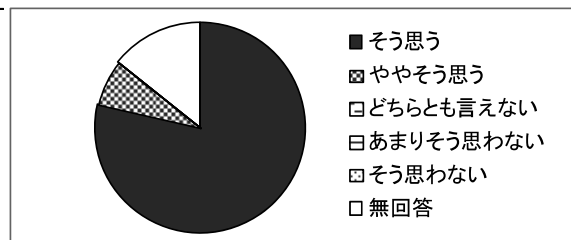
3. 本講座の内容はどうでしたか？

	回答数	構成比
1. 理解できた	9	64.3%
2. だいたい理解できた	3	21.4%
3. 少し難しかった	0	0.0%
4. 難しかった	0	0.0%
無回答	2	14.3%
計	14	



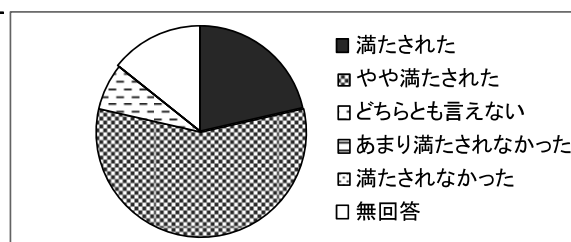
4. 講師はわかりやすく説明していましたか？

	回答数	構成比
1. そう思う	11	78.6%
2. ややそう思う	1	7.1%
3. どちらとも言えない	0	0.0%
4. あまりそう思わない	0	0.0%
5. そう思わない	0	0.0%
無回答	2	14.3%
計	14	



5. 本講座に対するご期待は満たされましたか？

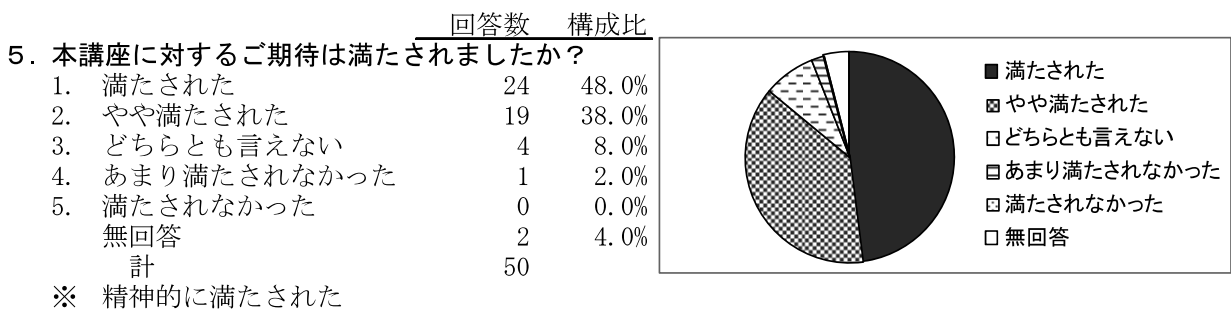
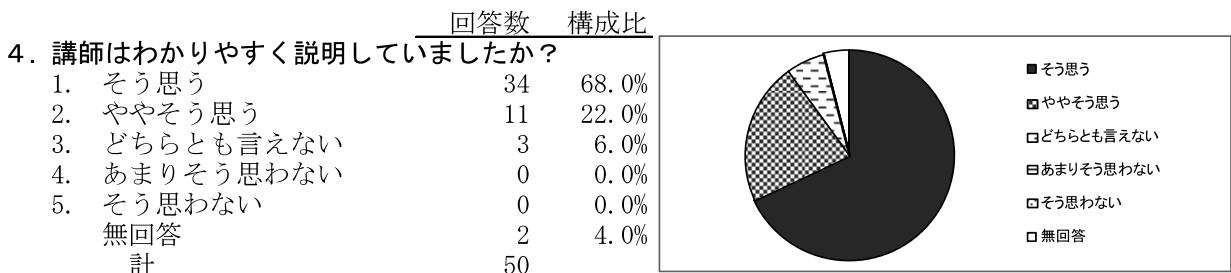
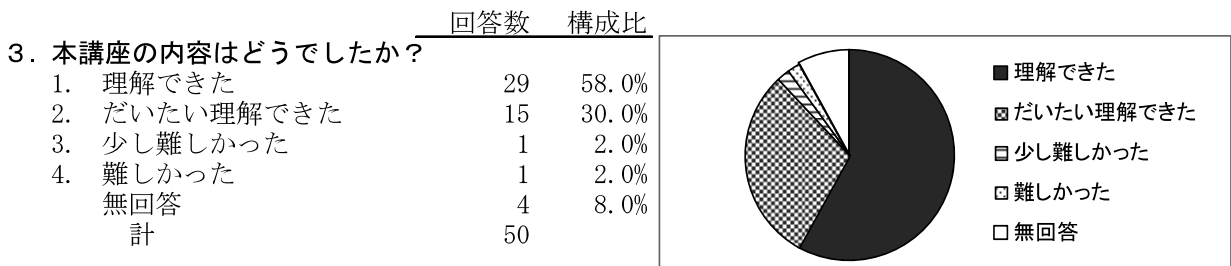
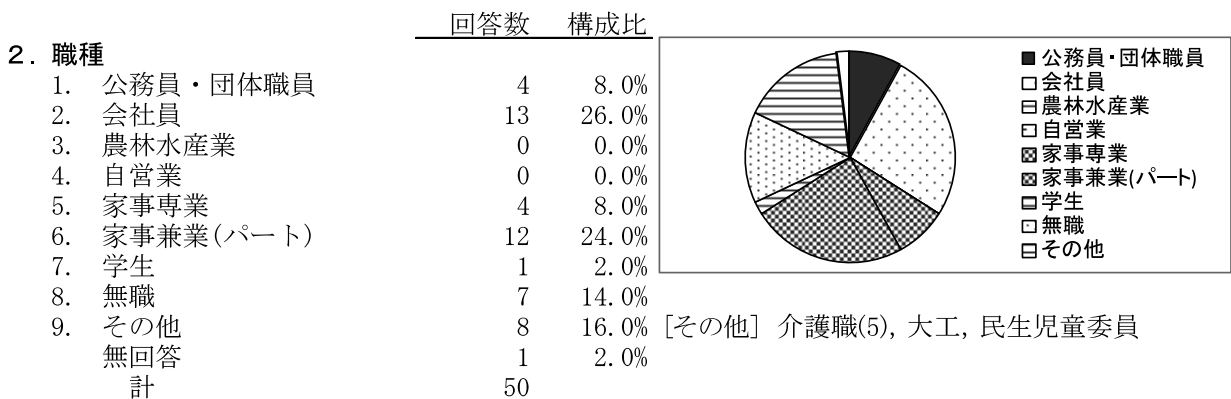
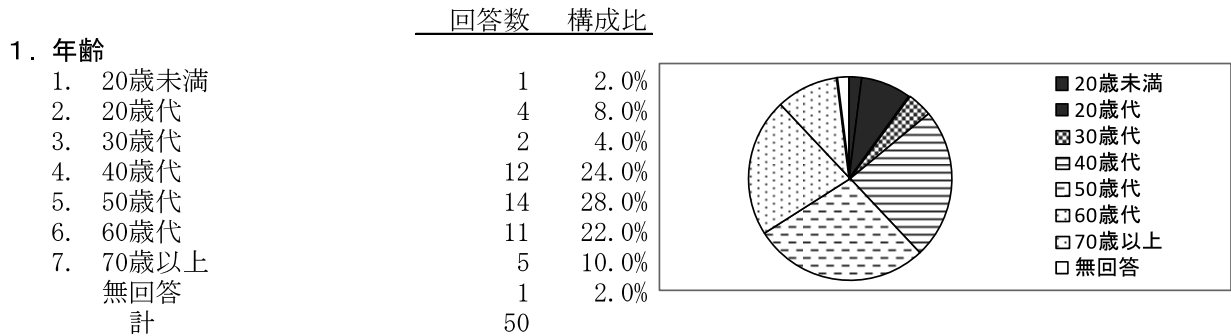
	回答数	構成比
1. 満たされた	3	21.4%
2. やや満たされた	8	57.1%
3. どちらとも言えない	1	7.1%
4. あまり満たされなかった	0	0.0%
5. 満たされなかった	0	0.0%
無回答	2	14.3%
計	14	



[付録 12] 介護公開講座 アンケート集計 (第 3 回目 N=50)

日時:平成 28 年 2 月 9 日(火)

テーマ:認知症の人にやさしいケアの基本 講師:菊池小百合



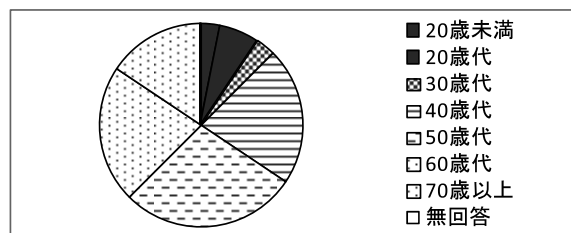
【付録 13】 介護公開講座 アンケート集計 (第 4 回目 N=32)

日時:平成 28 年 2 月 23 日(火)

テーマ:介護保険制度-認知症対応- 講師:宮入ひさ枝

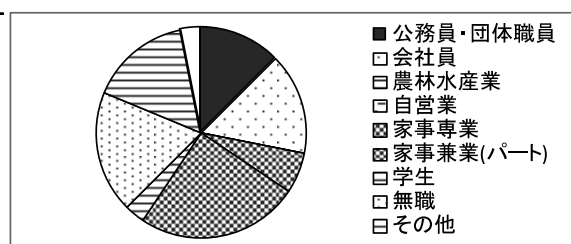
1. 年齢

	回答数	構成比
1. 20歳未満	1	3.1%
2. 20歳代	2	6.3%
3. 30歳代	1	3.1%
4. 40歳代	7	21.9%
5. 50歳代	9	28.1%
6. 60歳代	7	21.9%
7. 70歳以上	5	15.6%
無回答	0	0.0%
計	32	



2. 職種

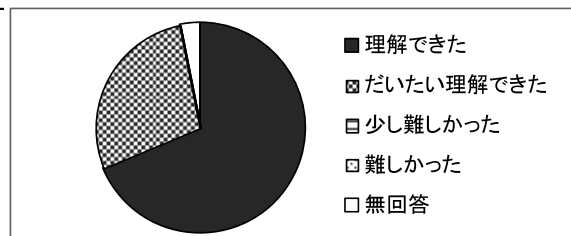
	回答数	構成比
1. 公務員・団体職員	4	12.5%
2. 会社員	5	15.6%
3. 農林水産業	0	0.0%
4. 自営業	0	0.0%
5. 家事専業	2	6.3%
6. 家事兼業(パート)	8	25.0%
7. 学生	1	3.1%
8. 無職	6	18.8%
9. その他	5	15.6%
無回答	1	3.1%
計	32	



[その他] 介護職(2), 大工, 民生児童委員

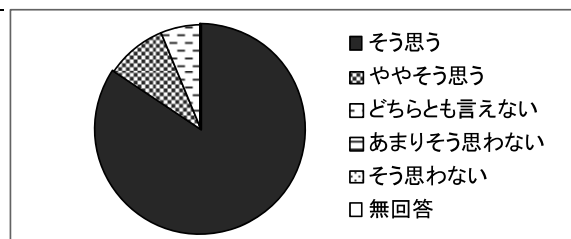
3. 本講座の内容はhowでしたか？

	回答数	構成比
1. 理解できた	22	68.8%
2. だいたい理解できた	9	28.1%
3. 少し難しかった	0	0.0%
4. 難しかった	0	0.0%
無回答	1	3.1%
計	32	



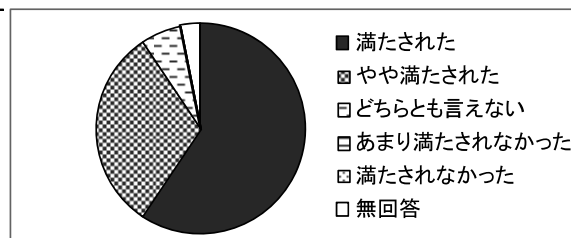
4. 講師はわかりやすく説明していましたか？

	回答数	構成比
1. そう思う	27	84.4%
2. ややそう思う	3	9.4%
3. どちらとも言えない	2	6.3%
4. あまりそう思わない	0	0.0%
5. そう思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	32	



5. 本講座に対するご期待は満たされましたか？

	回答数	構成比
1. 満たされた	19	59.4%
2. やや満たされた	10	31.3%
3. どちらとも言えない	2	6.3%
4. あまり満たされなかった	0	0.0%
5. 満たされなかった	0	0.0%
無回答	1	3.1%
計	32	

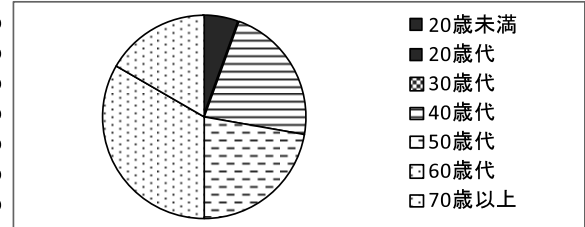


[付録 14] 介護公開講座 アンケート集計 (第 5 回目 N=18)

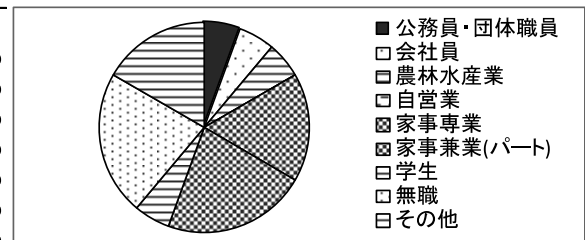
日時:平成 28 年 3 月 1 日(火)

テーマ:進歩する介護用繊維製品 講師:白井汪芳

	回答数	構成比
1. 年齢		
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	1	5.6%
3. 30歳代	0	0.0%
4. 40歳代	4	22.2%
5. 50歳代	4	22.2%
6. 60歳代	6	33.3%
7. 70歳以上	3	16.7%
計	18	

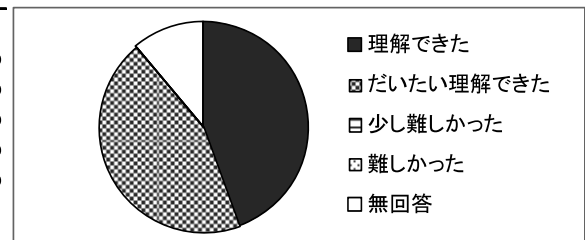


	回答数	構成比
2. 職種		
1. 公務員・団体職員	1	5.6%
2. 会社員	1	5.6%
3. 農林水産業	1	5.6%
4. 自営業	0	0.0%
5. 家事専業	3	16.7%
6. 家事兼業(パート)	4	22.2%
7. 学生	1	5.6%
8. 無職	4	22.2%
9. その他	3	16.7%
計	18	



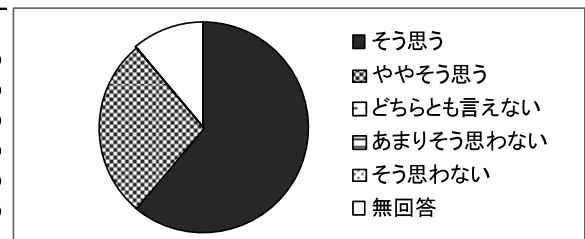
[その他] 介護職(2), 大工

	回答数	構成比
3. 本講座の内容はどうでしたか?		
1. 理解できた	8	44.4%
2. だいたい理解できた	8	44.4%
3. 少し難しかった	0	0.0%
4. 難しかった	0	0.0%
無回答	2	11.1%
計	18	



※ だいたい理解できたけど、少し難しかった

	回答数	構成比
4. 講師はわかりやすく説明していましたか?		
1. そう思う	11	61.1%
2. ややそう思う	5	27.8%
3. どちらとも言えない	0	0.0%
4. あまりそう思わない	0	0.0%
5. そう思わない	0	0.0%
無回答	2	11.1%
計	18	



	回答数	構成比
5. 本講座に対するご期待は満たされましたか?		
1. 満たされた	9	50.0%
2. やや満たされた	7	38.9%
3. どちらとも言えない	1	5.6%
4. あまり満たされなかった	0	0.0%
5. 満たされなかった	0	0.0%
無回答	1	5.6%
計	18	

